
2008 年度「メセナ活動実態調査」添付資料 「メセナ活動を通じて企業が得たこと」記述回答（抜粋）

2008 年度の実態調査では、昨年に引き続き「メセナ活動を通じて企業が得たこと」について尋ねました。記述欄を設けて、「得たこと」の根拠となる具体的な「エピソード」（特に参加者、被支援者、社員など関係者の声）を収集したところ、約 250 社が回答。その中から、メセナが社会に与えるインパクトや企業活動への好影響が読み取れる事例の一部を紹介します。

企業姿勢に対する理解の促進

写真展来場者のアンケートより：「写真は時として言葉よりも強いメッセージを出すことがあるから企業はハードの提供のみならずソフトを併せ持ったメッセージを出すことでその存在価値が増すものと思われる」「この展示会に来るまで、オリンパスがこのような活動を行っているの知らなかった。もっと PR してもよいのでは」（オリンパス〔株〕）

新宿区、（株）丸井と共催する「シンジユク アート インフィニティ」では、工事現場の仮囲いを若手アーティストの作品を発表する場として活用している。「建設現場がアート拠点としての役割を果たしている」という声も多い。（戸田建設〔株〕）

コンサートの開催に際し、社会の方々に NEC がこうしたメセナ活動をしていることを驚きとともに知っていただいた。また、来場者から NEC の社会貢献活動に対する認知を賛辞の言葉とともにいただいた。（NEC）

活動を通じたコミュニケーションの広がり

（コンサートの実施について）社外の協力企業や個人、社内の参加者から、当社の活動に協力することが、自分たちにとっても社会貢献活動になるということで、商売抜きでの協力を得られるようになってきた。ともに同じ舞台を作っていくパートナーとして結びつきがより強くなり、活動を通して新しいパートナーシップもできてきた。また、共同で参加できるプログラムを制作していけるようになった。（富国生命保険〔相〕）

他の協賛企業と経営トップ同士がコミュニケーションをとる機会になった。また異業種の広報担当者と知り合うきっかけになった。（〔株〕クレハ）

顧客の「働く手」を写真に収め、支店で展示。日ごろからのつきあいのある顧客の仕事・働くことについて考えるきっかけになったし、とても好評だった。（近畿労働金庫）

地域に活動が根つき、欠かせない存在へ

ギャラリーができて 20 年が経ち、「地域の文化の拠点になっている」と言われる。近隣に他のギャラリーができるなど「まちが文化的になってきたのは松明堂さんががんばってくれたから」という声もある。（〔株〕松明堂書店）

自社の財団主催のロビーコンサートは 200 回を迎えた。地域の方で欠かさず聴きにいらっしゃる方もあり、地域に根づいていると感じる。（〔株〕八十二銀行）

子どもを対象にしたワークショップなどは、リピーターが多く高い評価を受けており、今後とも継続的に活動を続けることを期待されている。（サントリー〔株〕）

芸術界・アーティストへのインパクト

版画コレクション展、展覧会シンポジウムなどに関して、他社や美術館でもあまり着手していないテーマなどを取り上げたこと、芸術・文化への真摯な取り組みなどを評価された。美術関係者から、企業が独自にこのようなメセナ活動を行うことに対し、非常に感謝された。（富士ゼロックス〔株〕）

パシフィック・ミュージック・フェスティバル（世界の若手音楽家の育成を目的とした国際教育音楽祭 / 以下 PMF）の修了生より次のような感想が寄せられた：「PMF は、オーケストラを志す学生の目標です。」「PMF に参加して、さまざまな国の方と一緒に学び、生活したことが、海外に留学するきっかけとなりました。」（野村ホールディングス〔株〕）